



古屋司教認可  
発行所 教区事務所  
定価 一部 10円  
予約 一年 100円

# 出発にあたって

## 古屋司教

ヨハネス二十三世教皇の後継者として現教皇、パウロ六世陛下は、前教皇と同じ精神を持って私達信者の

は、私達の信仰道徳の内容が変わることはなくキリスト以後二千年の伝統を持つ教会の精神が、現代の



八月十五日山科教会にて十周年記念植樹

信仰生活が現代に適合し、又、現在母なる教会を離れている人々がすみやかに一つの教会に一致することを希望しておいでになります。それ

最近、伊カトリックアクションの指導司祭三百名に対して、教皇様は

### 司祭の異動

|| ジョン・シールズ師 || YBU 布教事業勤務 (九月一日付) (すでに任命されたゴーマン師に協力するはず。尚、両師はマリアの家に居住)

|| ジェームズ・徳久師 || YBU 運動の相談役 (ジョージ・ハシバック師の後任)  
|| 青年活動委員会 (京都市内) ||  
トーマス・キーン師 (委員長)  
グラハム・マクドネル師  
トーマス・藤堂師

皇によって開かれた第二次ヴァチカン公会議を再開する宣言をなさったのも教皇の使徒的精神を示すものであります。

お恵みが与えられるように祈ることです。

九月二十九日から開かれる公会議に対して教皇様は、信者各自に次のことをお求めになっておられます。

私は、司教として、信者の皆様の代表者として公会議に参列致しますが、教会の一致のため、教会の発展のため出来るだけ努力し、皆様の分も働いてくるつもりであります。信者の皆様もこの期間中は、毎日特別にお祈りして下さい。教皇様をはじめ、世界の司教様達が、健康に恵まれながら、最後まで無事にその任務を果し、元気で各々帰国出来ますようにお祈りを切にお願致します。

カトリックアクションには、現代の社会をキリスト教化したいと欲することを強調なさいました。それは、信者がキリスト教生活に関する不活発で受動的な観念から、意識的で積極的観念に移ること、即ち、名目上の信者(教会の諸問題を理解せず、各種活動にも参加しない信者)から、一つの共同体としての教会の完全性とその積極的責任とを分かち合うことが出来、また、そうせねばならないという深い信念のある信者の状態に移り変わることを望みになって

意欲的であり、ヨハネス二十三前教皇様は、あらゆる問題の解決に

### 青年活動委員会

教区内の各小教区では、青年達の各種活動が発達に行われているが、八月六日九時半より西陣教会においてトーマス・キーン師(西陣)、グラハム・マクドネル師(衣笠)、トーマス・藤堂師(河原町)の三氏が集まり、青年活動について討議した結果、司教の認可を得て新たに委員

会を発足することになった。この会の目的は、各小教区の青年達の活動を推進し、相互に協力しあって活動をより効果的にするためである。はじめの試みとして発足することになったが、この目的をより完全に果すため、各方面からの助言と指導を要望されている。

### スポーツの日

- 九月二十二日(日)には、市内各教会のスポーツデイとして午前十時から洛星高校の校庭において、各種スポーツを行うことを青年活動委員会で決定された。当日の計画のため市内各教会の青年会の役員は、八月二十五日午後二時三十分から西陣教会に集まり当日の計画をたてた。詳細については、書簡を持って各教会に連絡されることになって

### 司教第二次ヴァチカン公会議に出席

古屋司教様には、来る九月二十九日からローマの聖ペトロ大聖堂で再開される第二次ヴァチカン公会議に出席されるため、九月二十三日羽田発のスカンディナヴィア・チャーター

機でローマに直行される。公会議は、十二月四日大会の幕を閉じる予定であるが、司教様は、フランスを回ってクリスマスまでには帰国される御計画である。

八月十六日には、午前十時から十二時まで同委員会の主催で、青年活動に関する話し合いの会が開かれ万木師(伏見教会)ピッセス師(北白川教会)、ギルマーチン師(高野教会)のほか委員会の三氏が集り、意見の交換があった。

### 青年の黙想会

青年活動委員会では、来る十月十一日より二十六日まで西陣教会において、教区青年男女のため黙想会を行う予定である。黙想の指導には次の司祭たちが担当する予定である。

十月二十一日(月) ムニー師 (四日市)

十月二十二日(火) デイフリー師 (徳川師(津))

十月二十三日(水) ナドラ師 (希望の家)

十月二十四日(木) 未定 (丸山師(三条))

十月二十五日(金) 未定 (小野師(三条))

十月二十六日(土) 未定 (浅田師(桑名))

ボツソレー師(西院)

村上師(高野)

カロン師 (韓国センター)

# 夏 期 学 校

## — 西 陣 教 会 —

西陣教会(主任司祭 ロバート ヒューズ神父)では例年の如く夏期学校を八月一日より一週間行った。



今年是最近新築された青年会館も教室に使用され、高中学生三クラス、小学生五クラス約百名の生徒が参加した。

要理研究の時間には信者は土曜学校の勉強の強化、未信者はキリストの生涯をテーマに倫理道徳教育を行った。学習指導の時間は信者、未信者合流して学年別にクラス編成し、別に中学生のため英会話クラスを作り神父様を担当。

九日は琵琶湖水泳の予定であったがおりから台風九号の影響で風波の荒れるのを心配して中止、お天気のためお祈りしていた子供達をがっかりさせた。短時日であったが夏休みの宿題を

# 桑名カトリック教会便り

桑名カトリック教会では、小中学校生徒を対象に一昨年より夏期学校を開催してきましたが、今年も七月二十六日より八月三日まで教会の伝導館において、又八月五日より八月十三日まで阿下喜、七和、多度にそれぞれサマー・スクールを開催しました。総数二百十数名の生徒が参加し、講師として今年も桑名教会所属の高等学校及び大学の学生以外に桑名ヌヴェール愛徳修道会のマメール方、又大阪及び京都のヌヴェール会のマメール方や京都聖母学院同窓生が参加しました。



朝八時二十五分からの朝礼にはじまり、夏休みの友の学習や一学期の復習、又器楽や歌、絵画、粘土細工、フ

桑名カトリック教会では、小中学校生徒を対象に一昨年より夏期学校を開催してきましたが、今年も七月二十六日より八月三日まで教会の伝導館において、又八月五日より八月十三日まで阿下喜、七和、多度にそれぞれサマー・スクールを開催しました。総数二百十数名の生徒が参加し、講師として今年も桑名教会所属の高等学校及び大学の学生以外に桑名ヌヴェール愛徳修道会のマメール方、又大阪及び京都のヌヴェール会のマメール方や京都聖母学院同窓生が参加しました。

朝八時二十五分からの朝礼にはじまり、夏休みの友の学習や一学期の復習、又器楽や歌、絵画、粘土細工、フ

朝八時二十五分からの朝礼にはじまり、夏休みの友の学習や一学期の復習、又器楽や歌、絵画、粘土細工、フ

子供達の興味をひきました。この夏期学校の特徴は生徒の家庭訪問と父兄を招待しての作品展示会及び学習発表会でしょう。子供達に案内させて各家庭を訪問した時、どこか家庭でも夏期学校が大変よろこばれており、なかでも短い期間ながらよいしつけをして下さるといふ期待をもつてらっしゃることがわがわが夏期学校の責任も大きいものだと思われたい。

子供達の興味をひきました。この夏期学校の特徴は生徒の家庭訪問と父兄を招待しての作品展示会及び学習発表会でしょう。子供達に案内させて各家庭を訪問した時、どこか家庭でも夏期学校が大変よろこばれており、なかでも短い期間ながらよいしつけをして下さるといふ期待をもつてらっしゃることがわがわが夏期学校の責任も大きいものだと思われたい。

子供達の興味をひきました。この夏期学校の特徴は生徒の家庭訪問と父兄を招待しての作品展示会及び学習発表会でしょう。子供達に案内させて各家庭を訪問した時、どこか家庭でも夏期学校が大変よろこばれており、なかでも短い期間ながらよいしつけをして下さるといふ期待をもつてらっしゃることがわがわが夏期学校の責任も大きいものだと思われたい。

子供達の興味をひきました。この夏期学校の特徴は生徒の家庭訪問と父兄を招待しての作品展示会及び学習発表会でしょう。子供達に案内させて各家庭を訪問した時、どこか家庭でも夏期学校が大変よろこばれており、なかでも短い期間ながらよいしつけをして下さるといふ期待をもつてらっしゃることがわがわが夏期学校の責任も大きいものだと思われたい。



桑名カトリック教会では、小中学校生徒を対象に一昨年より夏期学校を開催してきましたが、今年も七月二十六日より八月三日まで教会の伝導館において、又八月五日より八月十三日まで阿下喜、七和、多度にそれぞれサマー・スクールを開催しました。総数二百十数名の生徒が参加し、講師として今年も桑名教会所属の高等学校及び大学の学生以外に桑名ヌヴェール愛徳修道会のマメール方、又大阪及び京都のヌヴェール会のマメール方や京都聖母学院同窓生が参加しました。

桑名カトリック教会では、小中学校生徒を対象に一昨年より夏期学校を開催してきましたが、今年も七月二十六日より八月三日まで教会の伝導館において、又八月五日より八月十三日まで阿下喜、七和、多度にそれぞれサマー・スクールを開催しました。総数二百十数名の生徒が参加し、講師として今年も桑名教会所属の高等学校及び大学の学生以外に桑名ヌヴェール愛徳修道会のマメール方、又大阪及び京都のヌヴェール会のマメール方や京都聖母学院同窓生が参加しました。

# 桑名高校卒業生アメリカのカレッジに留学

## — 桑名教会 —

桑名教会所属、モニカ・マリア水谷康子さん(一九才)はこの度ニューヨーク州・テリタウンにあるメリマウント女子大学に留学のためパン・アメリカン機で七月三十日屋東京羽田を出発しました。メリマウント大学はニューヨーク市の北方二〇マイル、ハドソン河畔にある千人程の学生を擁するカレッジであり、康子さんは途中ホノル

ル、サンフランシスコ、ロスアンゼルス、セントルイス、シカゴを経て、ボストンに着き、そこで姉の森田淑子さんと久方振りに会うことになっている。姉の淑子さんの夫君森田重広さんは医師として東大医学部卒業後アメリカで研究を続けているものであります。水谷康子さんは文部次官をつとめ、再度桑名市長として働いて居られる現市長水谷昇氏とすみ子夫人の末娘であり、今春桑名高校普通科を卒業しました。在学中は高校英語弁論大会、三重地区大会で最高賞を受けたこともあり、本人は「英語の力は二ヶ年半にわたる桑名カトリック教会のマーク・テニエン神父様の英会話教室の百人程の同僚との楽しい勉強のうち力づけられました」といっています。南山大学のアウグスティー西脇博先生もその教室を手伝って、またマーク・テニエン神父様の紹介で英語力の優秀で、学業が英語で充分つけられる学生のために、全世界的に開かれていくメリマウントカレッジの奨学制度を受けられることとなり、この度の渡米となったものであります。写真説明は中央つとめて左モニカ・マリア水谷康子さん(出発にあたって桑名にて)

# MEDITATION OF THE MONTH

## PRAISE BE THY NAME, O MARY!

The holy name, Mary, was given Her, not by mere chance, but by God's design.

Ours too, is the joy and the privilege of calling Her, Mary, the name chosen by God, repeated by angels, intoned by the Church, called upon by all Christians from the time of Christ even until now!

# 月の黙想

おゝマリアよ、おん身の聖名は讚美せられさせ給え、

マリア様、あなたの聖なるお名前は偶然に与えられたものではありません。神様の摂理によってあたえられたのであります。神様がお撰びになったおん身の聖名を「マリア」と申し上げることのできるのは私たちにあって大きな喜びであり特権でもあります。その聖名はすべての天使達によって繰返され、教会も祈りの中にその聖名を唱え、キリストの時代から今に到る迄すべての信者達によって唱えられております。



# 学連便り

## — 京都教区高校部 —

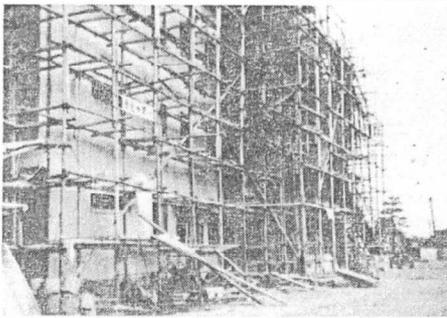
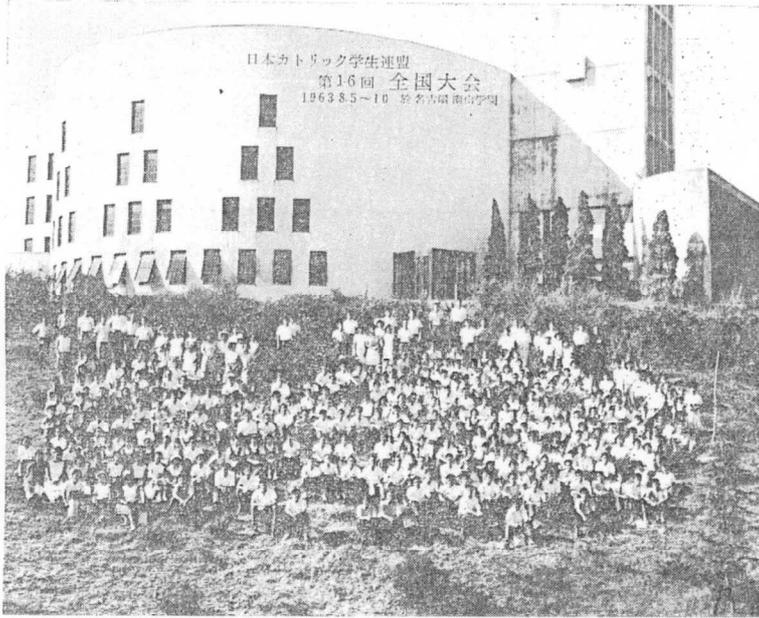
第十六回日本カトリック学生連盟 (主催全国大会が青年都市名古屋の南山大学で開かれた。去年の第十五回大会は京都の聖母学院で開かれた。今年のメインテーマは「諸国民の光たるキリストの教会を求めて— 仕えるために」である。以下順を追って京都学連高校部の活躍を紹介してみよう。

五日—京都学連員(内高三—二名、高一—七名)は比較2号で名古屋に向う。車中では研究資料や参考文献の点検に余念がない。会場に当てられた南山大学は準備会の方々によって綺麗に飾られていた。五時からすこしめずらしい半円形の聖堂である南山教会で大会のためにミサが献げられた。説

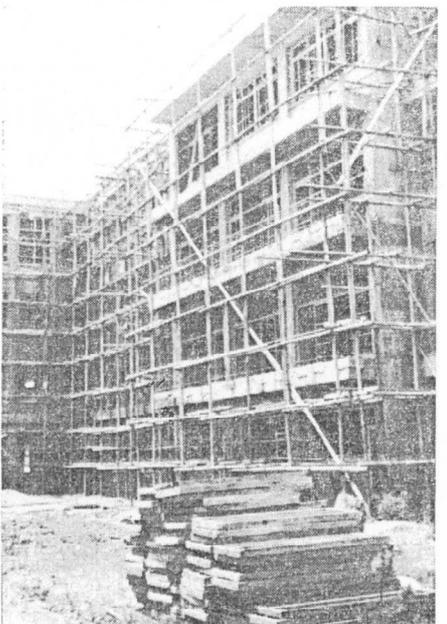
明会の後我々は交歓会の練習をすこした。時を同じくして定例委員会が開かれて、高校部の独立がみとめられた。

六日—世界の兄弟のために。大会開会式がひらかれ先ず日本学連委員長の開会宣言、続いてロール・コール、祈り、日本学連委員長のおいさつ、事務局指導司祭稲谷神父様のあいさつ等があり、最後に祝福があった。

午後からゼミナール教室において自己紹介と説明会がおこなわれ、皆なごやかな雰囲気にとけこんでいった。京都学連員はたいへん活発であった。



夏期休暇中、教区内の各学校とも新築校舎増設のため、新学期をひか



え多忙をきわめていた。ノートルダム大学では、四月より新学部を設置し特別教室その他の増設、園部の聖家族ドミニコ女子学園では講堂、洛

### 学園だより

れ、非常なかつさいをうけた。七日—日本の教会のために。京都学連員は今日から食堂の手伝いをおこなった。そのためにミサに出られなくて残念であった。午後からは単位学連と事務局の懇談会、聖書研究ゼミナールがおこなわれた。我々は聖書研究の準備のた

めに大学構内の木陰でダベリングを行う。皆大学生気分にもなったのか、むつかしいことをいっていった。八日—平和のために。午後からブロック別懇談会がひらかれた。我々は北陸、東北の学連員と一しよである、しかし終始、

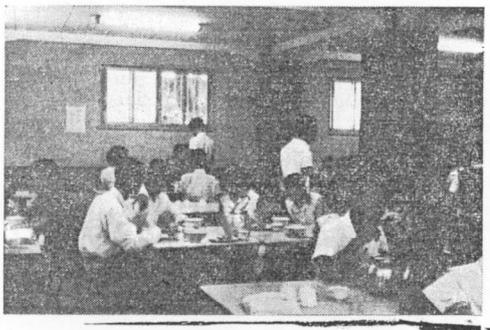
京都は押し気味であった。九時半から京都学連の主催で委員長懇談会がひらかれ各学連間で手紙のやりとりをするに決定した。九日—日本教会のために。長江司教様による第二バチカン公会議の講演が二時間にわたっておこなわれた。その後ゼミナール

十日—皆が一つになるために。ミサ、朝食の後あとかたづけをすませ、我々は市内見物に出かけた。まず東山動物園に出かけ、名古屋名物のさしめんをたべた。その後テレビ塔にのぼった。おりからの台風でぐらぐらとゆれていた。名古屋駅では名古屋学連の人達の見送りをうけ、一路京都へ向

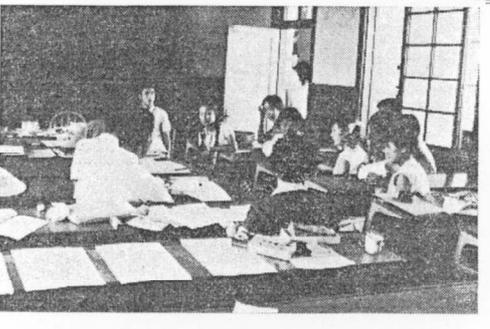
講演



食堂



事務局との懇談会



聖書研究練習風景



### 編集室より

第十五号(八月一日発行)は、記事不足のため、半分になりましたが皆様の御協力を得られなかったことでもあります。係の努力が足りなかった点を深くお詫び致します。教区時報は皆様のための新聞でありますから、できるだけ活用して下さい。